

ヘルパーO₂

酸素

粉剤200g入(水に溶かして散布して下さい)×10×2

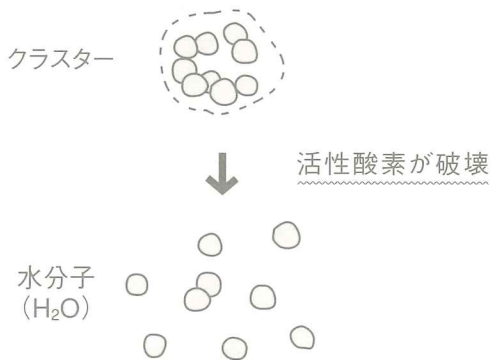
植物に一番大事な物は酸素です。

土壌中にて有機物が分解する時、酸素を消費します。ヘルパーO₂から発生する活性酸素は酸欠を解消し植物の生長を著しく促進させます。

酸素の役割

- 有機物(サッチ・古根)の分解促進
- 好気性菌(微生物)の増殖
- 根腐れ防止
- 種子発芽促進(24時間浸漬)
- 新根伸長促進
- 有害ガス(硫化水素)の抑制

■ 水は普通水分子が10~14個集まりクラスターという植物が吸収しにくい分子集団の形で存在しています。



活性酸素が水のクラスターを破壊
酸素が豊富に水に溶存



作物内・土壌中に、水が非常に入りやすくなる、水に殺菌作用を与える。



- ▲ 水上がりが非常に良くなる
- ▲ 葉面からの吸収が速やかになる
- ▲ 農薬使用量の軽減
- ▲ 収穫物の品質向上

植物用酸素供給剤 ヘルパーO₂

酸素(ヘルパーO₂)が水を変えます。

容量 200g入×10袋×2(水に溶かして散布してください)

使用方法

☆芝草(ゴルフ場・サッカー場・運動公園)

- 1tタンク(水量1t)に200g(ヘルパーO₂1袋)混入……5000倍液1㎡に1ℓ散布

☆水稻

- 種籾浸漬
- 出穂前……還元抑制
水田10a(1000㎡)に200g(ヘルパーO₂1袋)を2袋
ポリバケツ等に原液をつくり、点滴散布(2ヶ所設置)

☆畑作物

- 水量1-2tに200g(ヘルパーO₂1袋)を溶かし、灌注・葉面散布
(1ドラム缶(水量200ℓ)にヘルパーO₂40g~20g混入)
- 種子発芽促進として24時間浸漬後播種
- 育苗期の発根促進
- 根腐れ・立枯・青枯れ時……葉面散布及び土壤灌注
- 病気予防に葉面散布として施用
- 着色期・糖度期・肥大期・切り出し直後……全面土壤灌注

使用上の注意

- ヘルパーO₂と農薬、液肥との混用は可能ですが、強アルカリ性の農薬や鉄剤等との混用は避けて下さい
- ヘルパーO₂混入後できるだけ早めに御使用下さい
- 姉妹品ローンヘルパーとの併用が効果的です
- 子供の手の届かない所に保管してください

発売元

 株式会社 **アイム**
AIM Co., Ltd.

特約店